

町民の皆さんに町の財務状況をより分かりやすくお知らせするため、国が推奨している「新地方公会計制度」に基づいた令和元年度の財務諸表を作成しました。ここでは、その主な内容についてお知らせします。

町の一般会計のほか、国民健康保険などの公営事業会計、水道事業や下水道事業の公営企業会計などを含めた町が管理する7会計と、岩手県市町村総合事務組合、岩手県後期高齢者医療広域連合、盛岡・紫波地区環境施設組合、^{やびつ}矢櫃山造林一部事務組合の会計を連結させて、財務諸表を作成しています。

なお、より詳しい内容は、町ホームページでご覧いただけます。

▼問い合わせ 役場企画財政課財政係 (☎ 611-2726)

令和元年度 財務報告書 を公表します

1 貸借対照表

公共施設や現金、借金や債務など、町や関連団体が保有している財産（資産）がどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。左右の合計額が等しくバランスをとっていることから、バランスシートともいわれています。

<p style="text-align: center;">資 産 694 億 812 万円 (町民一人当たり 255 万円)</p> <p>町や関連団体が保有している財産です。将来にわたって資金流入が見込まれるものや行政サービスの提供能力を表しています。</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○固定資産（道路、学校、上下水道、基金、 団体出資金、貸付金など） 645 億 5,473 万円 ○流動資産（現金・預金、税未収金など） 48 億 5,339 万円 	<p style="text-align: center;">負 債 411 億 4,926 万円 (町民一人当たり 151 万円)</p> <p>将来の世代が負担する借入金（町債など）、将来返済する必要がある債務です。</p>
<p style="text-align: center;">合 計 694 億 812 万円</p>	<p style="text-align: center;">純資産 282 億 5,886 万円 (町民一人当たり 104 万円)</p> <p>現在の世代までが負担し、すでに支払いが済んでいる正味の資産です。</p>
<p style="text-align: center;">合 計 694 億 812 万円</p>	<p style="text-align: center;">合 計 694 億 812 万円</p>

2 行政コスト計算書

貸借対象表が資産を対象としているのに対し、資産で表すことができない行政サービスにどのくらいのコストがかかっているかを示したものです。

経常費用 a	197 億 2,596 万円 (町民一人当たり 73 万円)
経常的にかかる行政サービスにかかる費用です。	
○業務費用	78 億 9,307 万円
職員給与、光熱水費、物品購入費、修繕費、支払利息など	
○移転費用	118 億 3,289 万円
児童手当などの社会保障給付費、各種団体への補助金など	
経常収益 b	21 億 1,470 万円 (町民一人当たり 8 万円)
町民が行政サービスを利用して支払った使用料、手数料、負担金などです。	
純経常行政コスト b - a	△ 176 億 1,126 万円 (町民一人当たり△65 万円)
純行政コスト	△ 174 億 3,011 万円 (町民一人当たり△64 万円)
純経常行政コストから資産売却などの臨時的な経費を除いたものです。	

3 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が、1年間にどのように増減したかを示したものです。

平成 30 年度末純資産残高	346 億 3,881 万円
令和元年度変動額	9 億 523 万円
(内訳)	
○純行政コスト	△ 174 億 3,011 万円
○一般財源（地方税など）	114 億 5,823 万円
○国・県補助金など	69 億 2,482 万円
○その他	△ 4,771 万円
令和元年度末純資産残高	355 億 4,404 万円

4 資金収支計算書

1年間にどのような活動に資金を必要としているか、現金の増減を示したものです。

平成 30 年度末資金残高	24 億 292 万円
令和元年度収支	2 億 9,426 万円
(内訳)	
○業務活動収支	14 億 354 万円
○投資活動収支	△ 11 億 4,143 万円
○財務活動収支	3,215 万円
令和元年度末資金残高	26 億 9,718 万円

※表中の町民一人当たりの金額は、令和2年3月31日現在の人口 27,227 人で算出しています。

下水道事業会計予算のあらまし

収益的収支

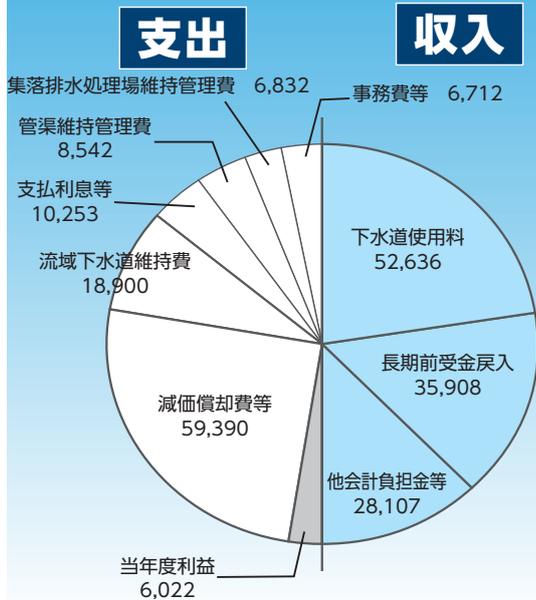
～下水を処理するための予算～

収入 11億 6,651万円
支出 11億 729万円

ご家庭や事業所で発生した汚水を下水処理場に送り、処理するための経費とその財源です。

町内の汚水・雨水管（かんきょ管渠）を維持管理する経費や、汚水を浄化する経費が含まれます。財源として下水道使用料が使われています。

(単位：万円)



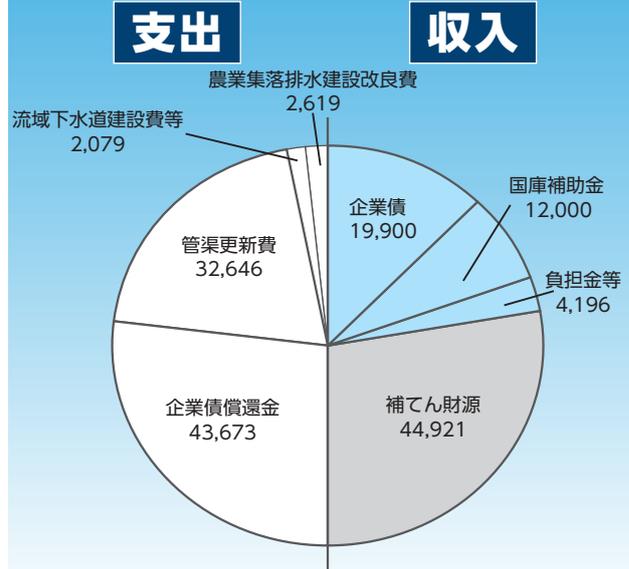
資本的収支

～下水処理設備をつくるための予算～

収入 3億 6,096万円
支出 8億 1,017万円

下水処理場や管渠の整備・長寿命化を進める経費や、整備するために借り入れた資金の返済に関する経費とその財源です。国などからの補助金や企業債などでまかなうほか、不足分は、資本拡充のために内部で留保・積立した資金を取り崩すなどして補っています。

(単位：万円)



令和3年度主要事業

内水ハザードマップ作成業務

内水による浸水リスクを調査・公表



農業集落排水 下赤林地区公共接続工事

下赤林地区を令和4年度から公共下水道に接続する工事

鉄蓋交換工事

老朽化したマンホールの蓋の更新

＜令和3年度矢巾町下水道事業業務予定量＞

※矢巾町が管理する下水道は、市街地の公共下水道と農村地域の農業集落排水に分けられます。

- 処理戸数（下水道に接続している世帯数） 10,100戸
- 年間処理水量（1年間に処理場で処理する汚水の総量） 3,963,170m³
- 1日平均処理水量（年間処理水量を年間日数で割った水量） 10,858m³

持続可能な事業運営のため、今年度も下水道施設の更新・長寿命化に取り組んでいくジャ！

下水道事業会計について詳しくは、役場上下水道課経営係（☎ 611-2562）へ。